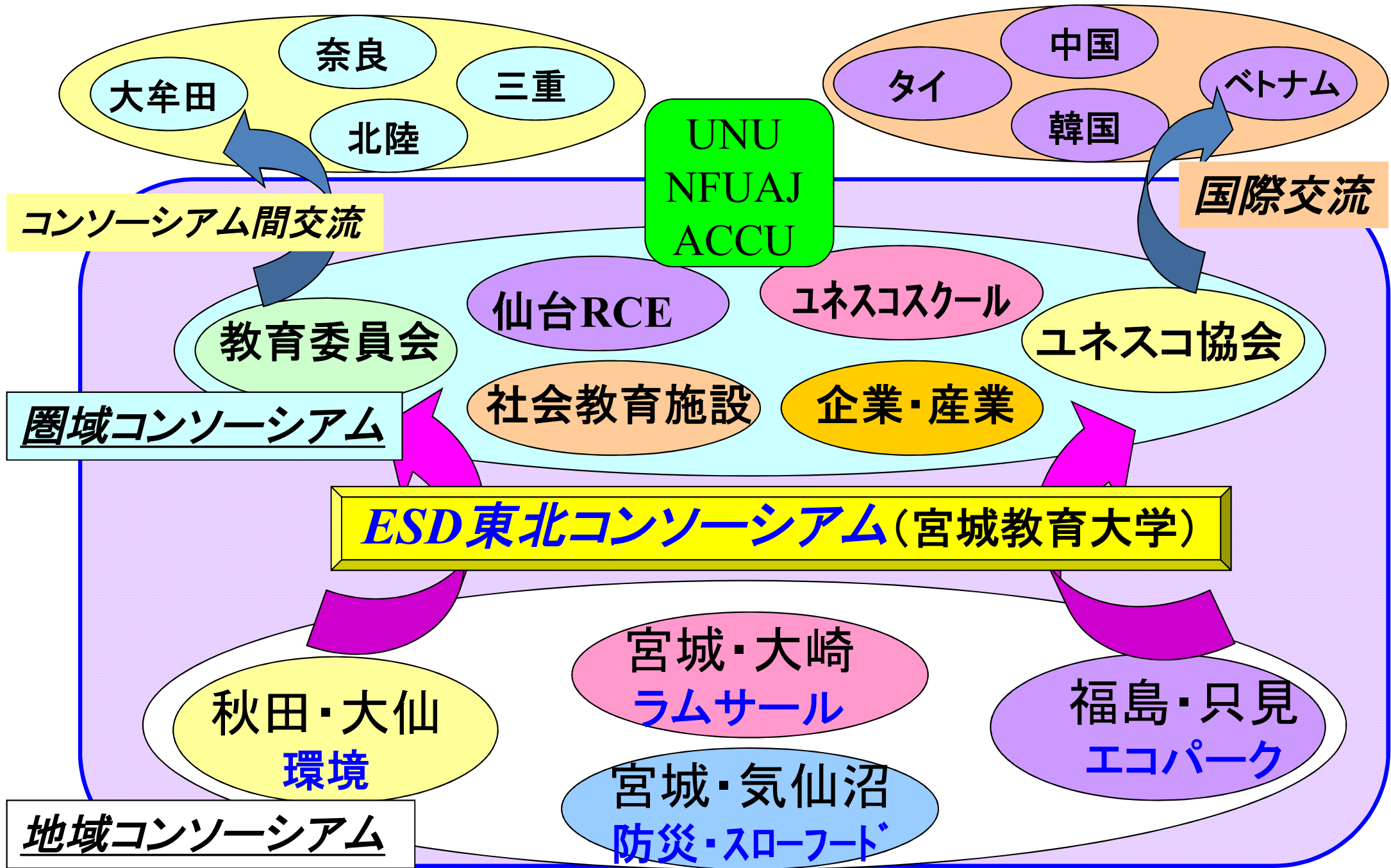


グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業

平成26年度 採択団体一覧

	事業名	代表団体
1	東北の自然環境と防災および国際連携をコアとしたグローバル人材の育成とESD地域モデルの創出	宮城教育大学
2	北陸における知の拠点形成によるESD推進事業	金沢大学
3	三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム	三重大学
4	グローバル人材育成を見据えたESDコンソーシアムの構築とユネスコスクール間交流によるESDの推進 - 国際(Think global)と国内(Act local)の融合 -	奈良教育大学
5	グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業	福岡県大牟田市 教育委員会

1. 宮城教育大学



平成26年度の取組

1. 組織体制の構築（採択時 113 → 現在 131）

ユネスコスクール(84)、教育委員会(9)、ユネスコ協会(8)、企業・産業団体(3)、
仙台広域圏RCE(22)、社会教育施設等(2)、アドバイザー(3)

2. 活動内容

- ESD円卓会議、ユネスコスクール研修会等の実施
- ユネスコスクール東北大会や関連・協カイベントに参加し、取り組みの報告や事業の趣旨説明を実施
- ESDに関するユネスコ世界会議への参加
- 国外のユネスコスクールとの交流 等

3. 課題

- 宮城県(気仙沼市)以外の地域へのESDの普及。県教委との連携。
- 企業からの支援体制の整理

今後に向けた展望

- ◆東北に広がる豊かな自然遺産、文化遺産等を活用し、ESDのネットワーク構築を目指す。

2. 金沢大学

北陸ESD推進コンソーシアム

- 北陸3県それぞれにおかれるユニットをつなぐ緩やかなネットワーク、代表団体:金沢大学
- 各ユニットにESDコーディネーターを配置
- 過去6年間にわたる北陸の連携・協働(北陸におけるESD推進連絡協議会)を拡大強化するネットワーク

富山ユニット

ユネスコスクール【ESD推進拠点】



連携・協働

富山大学(ESDコーディネーター)
富山県教育委員会、富山市教育委員会等
北陸電力、ユニー等の企業、北経連等
富山ユネスコ協会(ESDコーディネーター)
環境教育ネットワークとやまエコ広場等NGO
ファミリーパーク(動物園)
その他ESD関連組織

石川ユニット

ユネスコスクール【ESD推進拠点】



連携・協働

金沢大学(ESDコーディネーター)
石川県教育委員会、金沢市教育委員会等
北陸電力、ユニー等の企業、北経連等
石川県ユネスコ協会、金沢エコライブくらぶ
等NGO
大学コンソーシアム石川、いしかわ動物園
ユネスコ協会青年部等ESD関連組織

福井ユニット

ユネスコスクール【ESD推進拠点】



連携・協働

福井大学(ESDコーディネーター)等の大学
福井県教育庁、勝山市教育委員会等
ふくいテレビ等の企業、北経連等
ふくいユネスコ協会(ESDコーディネーター)
エコプランふくい等NGO
その他ESD関連組織

連携・協働

国内外における交流の促進、学校、社会教育施設等におけるESD活動の一層の推進と協働の強化

平成26年度の取組

1. 組織体制の構築（採択時 38 → 現在 104）

ユネスコスクール(76)石川県・福井県・富山県教育委員会、複数の市町村教育委員会(3)、大学(4)、ユネスコ協会(4)、企業(4)等

2. 活動内容

- 国内外のユネスコスクールとの交流
- 県教育委員会との連携(当面は、石川県教委との連携推進)
- ユネスコスクール以外の学校でESDを推進
- 社会教育施設等を活用した自然教育の実施
- ウェブサイト構築のための検討 等

3. 課題

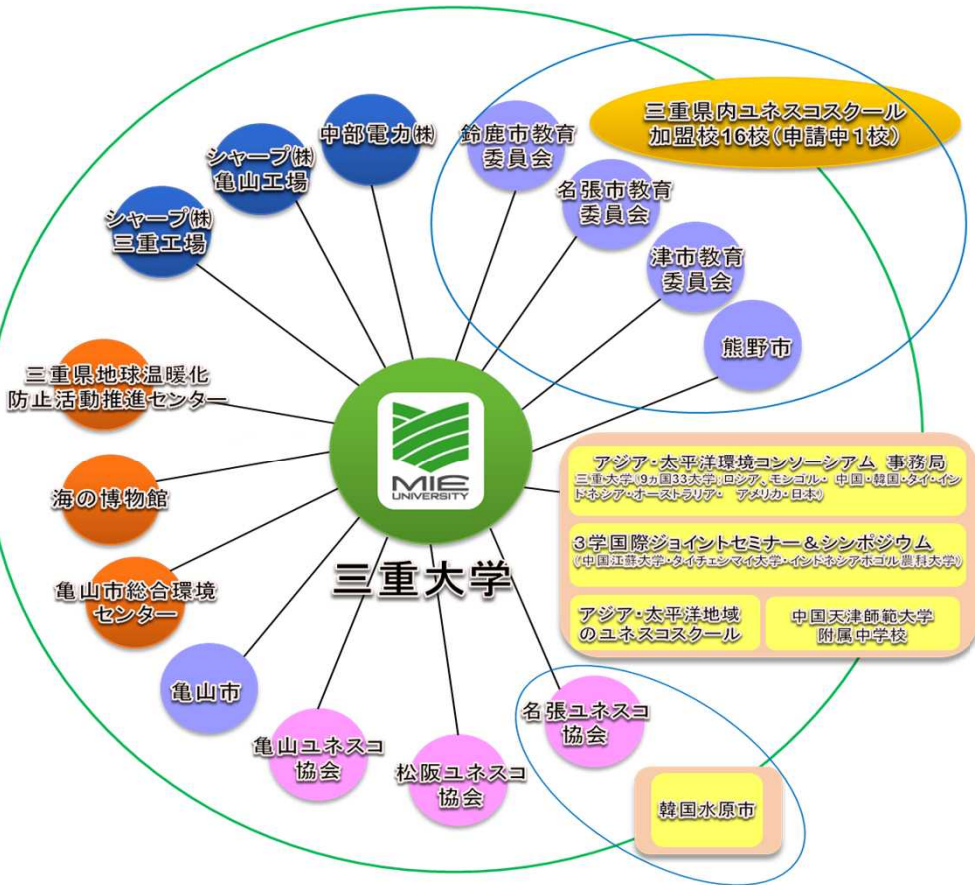
- ステークホルダーの交流機会の確保とともに、企業の支援体制づくりの具体化

今後に向けた展望

- ◆国内外のユネスコスクール間の交流の促進、県教育委員会との連携強化、現場の教員のニーズにあったウェブサイトの構築を目指す。

3. 三重大学

現在



概念図 (平成26年3月現在)



今後のビジョン



概念図 (平成29年2月以降)

平成26年度の取組

1. 組織体制の構築（採択時 51 → 現在 52 ）

三重県内の市教育委員会(5)、熊野市、亀山市、ユネスコスクール(16)、ユネスコ協会(4)、企業(7)、メディア(2)、三重県地球温暖化防止活動推進センター等

2. 活動内容

「ESD in 三重 2014」の開催

- 三重大学練習船による伊勢湾洋上生物多様性学習の実施
- ユネスコスクール以外の学校へのESD活動の実施
- アジア・太平洋・世界19カ国210名よる成果発表会開催、「ユース宣言」の作成・発表
- トヨタ自動車・中部電力(株)との連携による環境教育等の実施 等

3. 課題

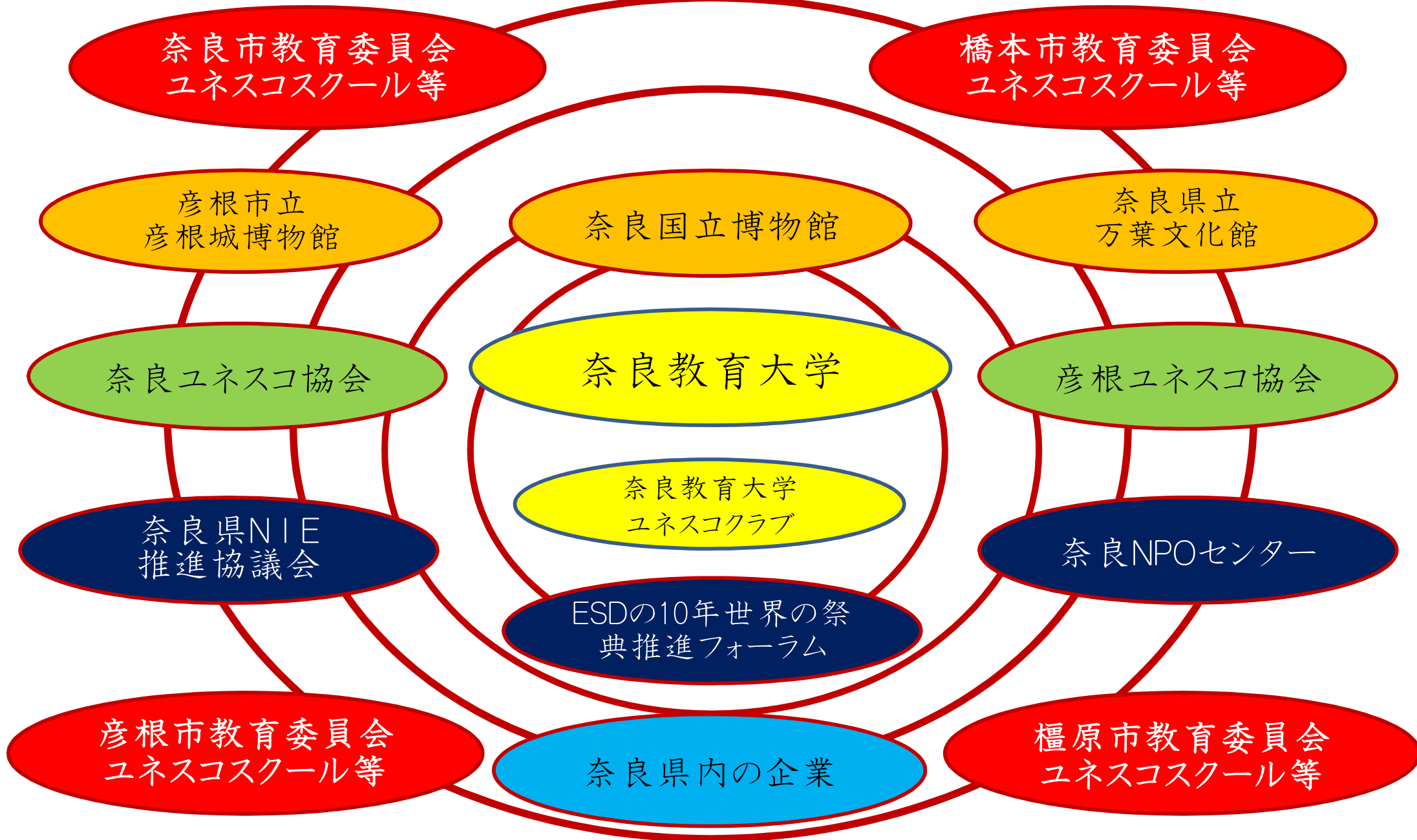
- ESDコーディネーター、ユネスコスクール数が少ない
- ステークホルダー間の交流機会の確保

今後に向けた展望

- ◆ 県教育委員会と連携しながら、「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」を他市に拡大を図るとともに、ESDの普及促進を目指す。

4. 奈良教育大学

コンソーシアムの構築・運営



平成26年度の取組

1. 組織体制の構築（採択時 60 → 現在 60 ）

ユネスコスクール(31)、市教育委員会(4)、ユネスコ協会(2)、社会教育施設(3)、奈良NPOセンター、奈良教育大学ユネスコクラブ、企業(14)等

2.活動内容

- 国内外のユネスコスクールとの交流
- ユネスコスクール以外の学校へのESD活動の実施
- ESDを実践出来る教員の養成と現職教員の研修会の開催
- 学生・現職教員・大学教員によるESD教材の開発研修の実施
- 生涯学習としてのESDの推進のため博物館と連携 等

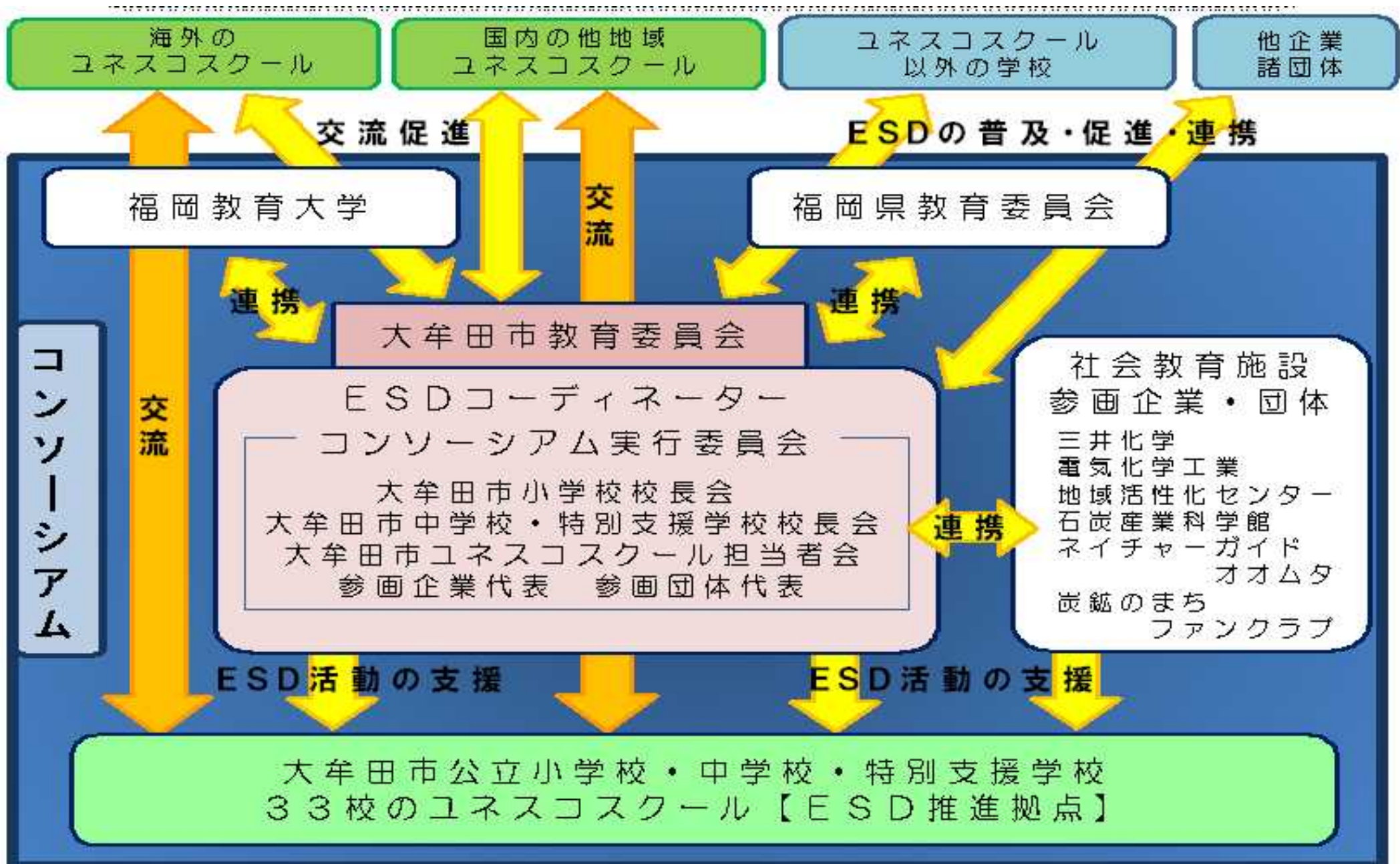
3.課題

- ユネスコスクール数が少なく、ユネスコスクール間の交流機会の確保
- 企業からの支援体制づくりの具体化

今後に向けた展望

- ◆国内外のユネスコスクール間の交流の促進を図るとともに、ESD推進者(牽引役)の養成を目指す。

5. 大牟田市教育委員会



平成26年度の取組

1. 組織体制の構築（採択時 41 → 現在 44 ）

ユネスコスクール(33)、福岡県教育委員会、福岡教育大学、大牟田市小・中・特別支援校長会、社会教育施設、企業等

2. 活動内容

- 教員やユネスコスクール関係者へ研修会/ユネスコスクール子どもサミットの開催
- 福岡教育大学との緊密な連携
- ユネスコスクール支援センターの開設
- 「ユネスコスクールだより」の発行(毎月) 等

3. 課題

- 大牟田市以外の地域へのESDの普及
- 企業からの支援体制づくりの具体化

今後に向けた展望

- ◆全国各地のユネスコスクールとの交流を促進し、高等学校を含むユネスコスクール以外の学校へ啓発、大学との連携強化を目指す。